

武蔵野市学習者用コンピュータ通信

第23号

発行

武蔵野市教育委員会指導課
令和4年12月

市ホームページにも、これまでのバックナンバーを含め掲載しております。

「学習者用コンピュータ通信」を検索していただくか、QRコードでアクセスしてください。



学習者用コンピュータ通信

検索

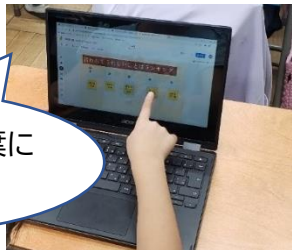


デジタル・シティズンシップ教育の実践をご紹介します


先月号でご紹介したデジタル・シティズンシップ教育について具体的な実践をご紹介します。

10月に市内の小学校2年生の学級で、「上手なコミュニケーションについて考えよう」をテーマに学級活動の授業が行われました。

授業ではまず、自分たちがどんなコミュニケーションを普段行っているか振り返り、よりよい関わり方について考えていきました。次に、自分が言われて嬉しい言葉を順位付けします




言われて嬉しい言葉に
順位をつけよう。



私は「かわいい」が
一番嬉しいけど、
あなたは「おもしろ
い」が一番なんだね。

順位付けした言葉を友達と見せ合うと、自分が言われて嬉しい言葉と、相手が言われて嬉しい言葉が違うことに気がきます。そして、相手が目の前にいれば、表情で気付くなどコミュニケーションを図ることができるのに、オンラインでは難しいことを学びました。学んだことを踏まえて、どうしたらオンラインでもコミュニケーションをうまく図れるか話し合いました。



嫌な言葉かどうか
聞いてみよう。

嫌なことは嫌って
はっきり言おう！

「初めに言われて嫌な言葉かどうか聞いてみよう」「嫌なことは嫌ってはっきり言おう」等と、オンラインでよりよいコミュニケーションを図るための意見が多く出ていました。その後、学んだことを生かして、これからどのようにコミュニケーションを図っていくか、自分の言葉で宣言しました。最後によりよいコミュニケーションの実践として、学級全員から日直の子へよいところを、学習者用コンピュータを使って記入・共有していきました。子どもたちは友達の理解を深めオンラインでも上手なコミュニケーションを図ろうとする姿が見られました。

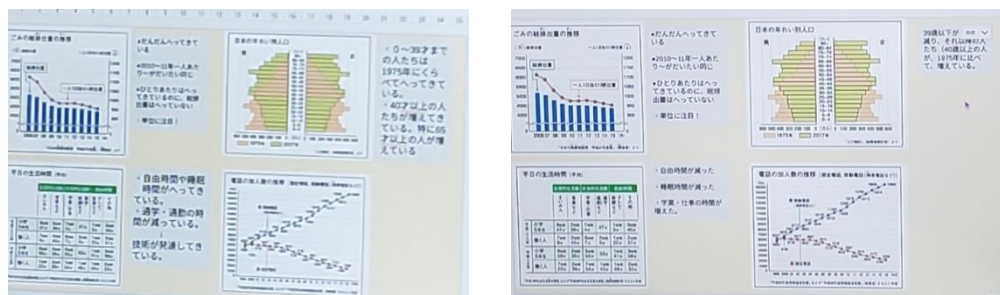
このように、学校でデジタル・シティズンシップ教育に取り組んでいます。しかし、学校だけではデジタル・シティズンシップは身に付きません。ご家庭の協力も必要です。学校と家庭が協力し、デジタル・シティズンシップ教育を進めていきましょう。

(裏面あり)

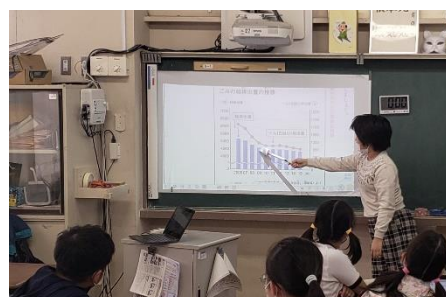
「学習者用コンピュータをノート代わりに使う授業」が展開されていました

市内の小学校5年生の教室では Google スライドを利用した、学習者用コンピュータをノートのように活用する授業が行われていました。先生が黒板に板書し、子どもたちがノートに写す場面は一度も見られませんでした。

国語の授業で「私たちの暮らしは、よりよい方向へ向かっているのか?」という学習課題に取り組んでいました。子どもたちは「向かっている」「向かっていない」という2つの立場に分かれ、根拠となる資料を基に自分たちの意見を考え、資料から読み取れる内容を自分のスライドに書き込んでいきます。学級全員で共有したい意見は、担任の先生が子どもたちのスライドに送り共有します。各自の意見を考えた後は、班で意見を交わし合ったり、学級全体で意見を共有したりして、自分の考えを深めていました。



【子どもごとに違うノート代わりのスライド画面の様子】



【対面のコミュニケーションも大切にしています】

下の表は担任の先生や、児童にインタビューした内容です。

	ノート、プリントを使った授業	学習者用コンピュータを使った授業
ノートチェック	放課後等を使って、次の授業までに一人一人のノートをチェックし、コメントを入れて返却していた。	空いた時間を使ってこまめにチェックできる。担任だけでなく、児童同士でコメントを書き合うこともある。
授業中の意見共有	翌日以降にノートをコピーして配付。発言した児童の意見のみ授業中に共有できた。	フォームやスクリーンショット等を活用して、児童の意見を即時に授業内で意見を共有できる。
資料の配付	全員分を印刷し、必要な資料をハサミで切り取り、自分のノートに貼るため、時間がかかっていた。	資料をデータで配付し、必要な資料を各自で切り取り、自分のスライドに貼り付けるので印刷する必要がない。
ノートや文の作成	間違った時に、文を書き直すのが大変。ノートを1冊書き終えたときは、達成感がある。	間違っても書き直すのが簡単。早くたくさん文を書けるようになった。ノートよりきれいに書けて見やすい。

このように、先生も子どもたちも、学習者用コンピュータを使用した授業のよさを実感していました。筆記用具を使って文字等を書くことは大切です。その大切さを踏まえた上で、学習者用コンピュータを効果的に使用することで、文章を書くことが苦手な子どもが以前より書けるようになる等、子どもをサポートすることができます。手書きと学習者用コンピュータのそれぞれの長所を生かした授業が行われています。